米沢市地域公共交通計画(案)に関する主な御意見(パブリック・コメント前)に対する対応

No.	区分	頁	意見概要	回答・考え方	修正の有無
1	市民説明会	20	移動サービスの医療機関送迎バスに「こころの病院」が含まれているが、デイサービス用で、来院者は利用していない。	医療機関送迎バス関連について再度確認したところ、「米沢こころの病院」の移動サービスはデイケア対象者に限定されるものとのことでしたので、注釈として利用者が「デイケア対象者のみ」に限定される旨追記します。	有
2	庁内	20	移動サービスのうち「スクールバス」について、記載されている学校以外でも、バスやのりあいタクシー等で遠距離通学をしている学校がある。	遠距離通学(バス・のりあいタクシー)、借上げタクシー、スクールバス運行のパターン別に再度整理します。	有
3	庁内	25 32 42	病院建設の文言について、2つの病院は統合するのではなく、隣接して建設するため、誤解のない表現にしてほしい。	2つの病院を隣接して建設する旨の表現に改めます。	有
4	議会	37	表中「各鉄道駅の利用者数」では米沢駅の通学利用者が40名、その下の表「各学校の駅利用状況」では高校生の駅利用が9名となっているが、その差異は何か。	「各鉄道駅の利用者数」には市内の高校に通学する高校生のほか、市外に通学する高校生、市内外に通う大学生、専門学校生の数も含まれており、「各学校の駅利用状況」と一致しないため、その旨注釈として記載します。	有
5	協議会	42	総合計画にあるように、一人ひとりが創造し続ける必要がある。高齢化が進みだんだんと運転ができなくなり、孤独になり、1人で過ごされる方も多い。地域で意見を出し合いながら、良い方向に進んでいければと感じている。	上位計画である市総合計画の理念も反映した計画を推進していきます。	無
6	協議会	42	この計画案を見せていただいて非常によくまとまっていると感じた。計画のキーワードは、「連携」と「協調」と思っている。観光、健康、福祉、環境など公共交通は様々な分野に関わるし、大きな効果を表すものでもと感じている。それらをうまく使って地域活性化につなげてほしい。	基本的な方針にお示したとおり、各種計画、特に立地適正化計画や都市計画マスタープラン、その他福祉、観光などの計画とも連携していきます。	無
7	市民説明会	28 42	高校の統合でますます足の確保が必要になるだろう。	統合に合わせて路線再編も検討します。P42の基本的な方針の中の「検討に当たり留意すべき事項」として、「学校統合」を追記します。	有

【凡例】協議会:第3回地域公共交通活性化協議会(11/12)での委員からの御意見、市民説明会:市内7か所で開催(12/8~17)した説明会での御意見
議会:総務文教常任委員会協議会(11/17)および市政協議会(11/24)での御意見、庁内:庁内の確認で得られた意見
※「頁」の()書きは、修正前の計画案の該当箇所を示す。

米沢市地域公共交通計画(案)に関する主な御意見(パブリック・コメント前)に対する対応

No.	区分	頁	意見概要	回答・考え方	修正の有無
8	協議会	21 22 24 42	環境の視点から、自家用車をたくさん走らせるより、公共交通をみんなで利用した方がCO2排出量は少ない。米沢市はゼロカーボンシティ宣言をされ、SDGs未来都市にも選定されているので、そういった環境にやさしい公共交通というような視点で利用促進を図ってほしい。	計画にはSDGsの視点も入れており、また、企業等へのノーマイカーデーの取組も計画の中に入っているため、環境の視点からの公共交通利用についてもしっかり対応していきます。 また、P42基本的な方針の中に、関連のある「SDGsのアイコン」を追記します。	有
9	議会	46	通学定期券の年間発行枚数(循環バス)が設定されているが、路線バスも加えるべきではないか？	市街地の利便性向上に関するKPIであることや、路線バス分の年間発行枚数の把握が困難なことから、郊外部を運行する路線バスを含めず、市街地循環路線のみで成果を判断したいと考えております。 なお、通学利用の向上のための周知啓発は、しっかり行っていきます。	無
10	庁内	48	基本目標3は、広域的な公共交通の年間利用者数を指標にするのであれば、鉄道だけでなく高速バスの指標・数値目標も加えるべきでないか。	基本目標3のKPIとして「高速バス米沢～仙台線の年間利用者数」を追記します。	有
11	庁内	49 54 61	「待ちやすい」「待ちやすさ」という表現に違和感がある。	「バス待ち環境」という表現に統一します。	有
12	協議会	53	「右回り」「左回り」と書かれてもどっちがどっちかわからない。 例えば、「上杉神社先回り」「市役所先回り」など観光客でもわかりやすい系統名にしてほしい。	重点事業1-1-①に「路線名称等の見直しを行う」旨追記します。	有
13	協議会	53	アルバイトの行きかえりで、車を持っている学生は少なく、徒歩や自転車が多いため、学生の間からは、もう少し遅い時間までバスを運行してほしいとの話を聞く。	循環バスの路線見直しでは、大学や学生の御意見も伺いながら検討していきたいと考えています。	無
14	協議会	53	循環バス南回り路線の再編について、通学時の利便性向上のためのダイヤやルートの見直しなど、特に学寮にも配慮いただきたく、相談できればと思っている。	循環バスの路線見直しでは、大学や学生の御意見も伺いながら検討していきたいと考えています。	無
15	市民説明会	53	路線の見直しの対象には、市の循環バスだけでなく山交バスは含まれているのか。	山交バスも含めて検討を進めていく予定です。	無

【凡例】協議会：第3回地域公共交通活性化協議会(11/12)での委員からの御意見、市民説明会：市内7か所で開催(12/8～17)した説明会での御意見
議会：総務文教常任委員会協議会(11/17)および市政協議会(11/24)での御意見、庁内：庁内の確認で得られた意見
※「頁」の()書きは、修正前の計画案の該当箇所を示す。

米沢市地域公共交通計画(案)に関する主な御意見(パブリック・コメント前)に対する対応

No.	区分	頁	意見概要	回答・考え方	修正の有無
16	市民説明会	53 59	パターンダイヤ、1時間に1本だと列車のダイヤに合わなくなるのではないか。	重点事業1-1-①に、パターンダイヤ化への見直しにあたっては「列車の接続を考慮する」旨を追記するとともに、重点事業3-1-①には、鉄道とバスの接続の具体的な考え方として「午前は鉄道から市内バスへの乗継、午後は市内バスから鉄道への乗継を優先」する旨を追記します。	有
17	市民説明会	53	冬ダイヤは1日11本→10本に減るが、利用が増える冬ダイヤこそ増便すべき。	気象条件など厳しい面もありますが、一年間通して同じダイヤで運行ができないか検討していきます。	無
18	協議会	54	「米沢駅の誘導サイン等の改善」のスケジュールについて、すぐできることはどんどん進めていただきたい。	前倒しで取り組めるものは実施していきます。 なお、重点事業1-1-②について、柔軟に対応できるような「スケジュールの表記」に見直します。	有
19	協議会	54	米沢駅を起点としたパターンダイヤにより、利用する可能性のある高校生も多くなると思う。また、ナセBAには高校生がよく集まるので、交通拠点に設定されたことが非常にありがたいと思うし、まちなかを回遊する生徒が増えていくと思う。	重点事業1-1-③のとおり、ナセBAの交通拠点の設定については、今後一方通行の解除等も予定されているので、そのような動きと歩調を合わせながら、経路の見直し、ナセBA南側へのバス停の新設、付近の「大町」「皇大神社前」「中央一丁目」バス停も含めた一体的な路線案内等も含めて検討していきます。	無
20	議会	54	ナセBAをどのような要所にするのか。どんな姿を目指すのか。向かいの空き地の活用はどう考えるのか。	公共交通ネットワークの将来像のとおり、ナセBA周辺は、米沢駅前と合わせた交通拠点を目指しています。 ナセBAに來れば、市内のいろんな所に行けるように路線の検討を進めていきます。	無
21	議会	54	ナセBA単体でなく、周辺を含めた地域がターミナルになるというイメージか。新しくナセBA内に待合所を設けるとか、イメージが不透明なのだがどうか。	具体的には、一方通行の解除と合わせて、ナセBAの南側(ナセBA側)のバスベイを利用したバス停の追加と、ナセBAでのバス待ち環境を合わせて検討していきます。このほか、米沢信用金庫本店付近のバス停での接続性向上なども考えており、今後の路線等の見直しの中で検討していきます。	無
22	市民説明会	56	窪田地区のバスは本数が少ない。バスに限らず、また、複数地区を通るような路線だと便利だと思う。	重点事業2-1-①において、隣接した地区への延伸の可能性も含めて検討します。文章中「隣接する集落」を「隣接する集落等」に改めます。	有

【凡例】協議会：第3回地域公共交通活性化協議会(11/12)での委員からの御意見、市民説明会：市内7か所で開催(12/8～17)した説明会での御意見
議会：総務文教常任委員会協議会(11/17)および市政協議会(11/24)での御意見、庁内：庁内の確認で得られた意見
※「頁」の( )書きは、修正前の計画案の該当箇所を示す。

米沢市地域公共交通計画(案)に関する主な御意見(パブリック・コメント前)に対する対応

No.	区分	頁	意見概要	回答・考え方	修正の有無
23	議会	57	交通弱者にとっては喫緊の課題だ。各地区の考えを計画策定と同時進行で進めていくことも必要だと思うが、地区から要望があれば、検討を進めていく場を設けてもらえるのか。	今回の計画案を示したうえで、踏み込んだ検討に入れるという地区があれば進めてもらいたいと考えており、市も手順等を示すなどしながら地域の検討を支援していきたいと考えています。 まずは地域の組織化から始めていきたいと考えており、組織化後の検討が順調に進んだ場合、例えば1年目に検討、2年目に実証運行、3年目からの本格運行などが考えられます。 参考として重点事業2-1-②に「デマンド型乗合タクシーの新規導入を想定した場合の最短のスケジュール(例)」を追記します。	有
24	議会 市民説明会	57	乗合タクシーを要望する声は多いだろう。しかし、すべて乗合タクシーにするのが市にとって必ずしもいいとは思わない。タクシーのサブスク的方法も提示するなど、各地区に合った気づきやアイデアを募って方法を構築していく必要があると思うが市の認識はどうか。	地域の実情に応じた見直しを行うために、市も先進地の事例等をお示しするなどしながら地域の検討を支援していきたいと考えています。	無
25	市民説明会	57	当地区では山交バスが走っているが、バス停から離れた人は移動が大変なので、バスのルート以外はデマンドを走らせるなど検討してほしい。	のりあいタクシーは路線バスと異なり、運行本数が増えるほど赤字が増える仕組みです。 そのため、地域に必要な交通手段を地域の皆さんで考えていただくことが大切であり、また、地域で考えていただくと、必ずしものりあいタクシーが最適とは限らないケースもあります。 さらに、バス事業者との調整も必要ですので、まずは地域で組織化をして、一緒に考える機会をいただきたいと考えています。	無
26	市民説明会	57	当地区は山交バスがあったおかげで一定の利便性はあると思う。しかし地域としては長年デマンドを要望している。バスとデマンドを共存させた公共交通を当地区に作って欲しい。	バスとデマンドを重複して運行する事は、二重に投資してしまうことになるので、共存は難しいと考えています。 山交バスとはこれまで以上に協議を重ねており、地域の方とも一緒に考えていきたいと思えます。	無

【凡例】協議会:第3回地域公共交通活性化協議会(11/12)での委員からの御意見、市民説明会:市内7か所で開催(12/8~17)した説明会での御意見
議会:総務文教常任委員会協議会(11/17)および市政協議会(11/24)での御意見、庁内:庁内の確認で得られた意見
※「頁」の()書きは、修正前の計画案の該当箇所を示す。

米沢市地域公共交通計画(案)に関する主な御意見(パブリック・コメント前)に対する対応

No.	区分	頁	意見概要	回答・考え方	修正の有無
27	市民説明会	58	小野川温泉では各旅館でマイクロバスを運行したりしているので、活用を検討してはどうか。	プロジェクト2の戦略的に進める事業2-2-(1)では、施設(温泉旅館)の送迎サービスも含めて検討することとしていますので、地域の、皆さんと一緒に最適な方法を考えていきたいと思えます。	無
28	議会 市民説明会	59	ダイヤ改正で、パターンダイヤ化ということになると、鉄道とのアクセス時間にずれが生じるのではないかと。関係者との話し合いは進んでいるのか。	市民バスについては、列車の接続を考慮して、ダイヤのパターンを午前と午後に分けて考える等の対策を考慮しており、山交バスとの調整は次年度から進めていく予定です。重点事業3-1-①に「米沢駅での接続を基本として。午前は鉄道から市内バスへの乗継、午後は市内バスから鉄道への乗継を優先」する旨追記します。	有
29	議会	59	学生や高齢者等の交通弱者の場合、新幹線というよりは在来線との接続の方が重要だと思うがどうか。観光客の利便性も大事だが生活者に利便性を感じてもらえるように進めることも重要であり、バランスをとるのが難しい。この計画を策定する段階で見据えなければならないことだと思うがどうか。	学生等の利便性を考えた接続は重要だと考えており、朝の増便等含め手法を検討していきます。	無
30	市民説明会	59	関根駅・大沢駅・峠駅・板谷駅の活用についてはどう考えているのか。	鉄道と乗合タクシーが干渉しないような乗合タクシーのダイヤを設定するなど、鉄道と乗合タクシーを合わせて利便性の向上を考えていきます。	無
31	協議会	60	ICカードについて、今、現金を持たず、カードや携帯だけで過ごす人が増えていると思う。JRともどんどん連携して、米沢駅でも使えるようになったらいいと思った。	戦略的に進める事業3-2-(2)「MaaSに基づくサービスの展開」と関連して、JRとのSuicaの連携もさらに深めていきたいと考えています。	無
32	協議会	60	観光二次交通の問題について、なかなかタクシーを使う方が少ない。のりあいタクシーを始めるにあたり、乗合の免許を取得したので、その辺を利用した二次交通などをお手伝いできないものかと考えている。	のりあいタクシー事業が拡大していく場合、タクシー業界の皆様ぜひ御協力いただきたいと考えています。戦略的に進める事業3-2-(1)を「バスやタクシー等を利用したバスパックの展開及び医療機関などの広域的な移動の検討」に変更しタクシーも含めた取組にします。	有

【凡例】協議会:第3回地域公共交通活性化協議会(11/12)での委員からの御意見、市民説明会:市内7か所で開催(12/8~17)した説明会での御意見
議会:総務文教常任委員会協議会(11/17)および市政協議会(11/24)での御意見、庁内:庁内の確認で得られた意見
※「頁」の()書きは、修正前の計画書の該当箇所を示す。

米沢市地域公共交通計画(案)に関する主な御意見(パブリック・コメント前)に対する対応

No.	区分	頁	意見概要	回答・考え方	修正の有無
33	市民説明会	60	山交バス小松線を置賜総合病院まで延長すれば利用者数が伸びるのではないか。	戦略的に進める事業3-2-(1)の名称を、「バスやタクシー等を利用したバスパックの展開及び医療機関などの広域的な移動の検討」に改め、置賜総合病院などの広域的な移動も含めて検討します。	有
34	協議会 市民説明会	61 (55)	学生にとって市民バス210円は意外と高いと思う。例えば土日や夜間など、時間限定でもいいと思うので、運賃値下げを検討いただきたい。 また、お得な運賃で、各地のイベントを巡るようなこともできたら面白いかと思う。	市街地の均一運賃制度の導入のほか、運賃減額・乗継割引などについても利用状況や収支を勘案しながら検討していくこととします。 このことから、重点事業名を「均一運賃制度の導入」から「運賃制度の見直し」に改め、プロジェクト4に移行します。	有
35	協議会 市民説明会	61	バス停について、コンビニエンスストアや周りの商店と共同して、バスの待合スペースを作るアイデアはとてもよいが、現状コミセンにバス停が無いので、コミセンにバス停があると良いのではないか。 今後、雪の壁の裏側に体の悪い方等が雪の中で立つて待つことがなくなり人の目も届くので、やさしいまちになるという期待を持つことができた。	重点事業4-1-②にバス停付近のコンビニだけでなく、「スーパーのフードコートのような休憩スペースを利用」させていただけないか検討する旨と、「コミセンやランドマークとなる施設へのバス停の設置検討」を追記します。	有
36	協議会	62	GoogleやJRの「どコトレ」などの検索ツールが利用者にきちんと届くような広報活動も一緒にしていただきたい。	重点事業4-1-③に、運行情報の公表・更新と合わせ、「交通系アプリなど検索ツールの利用促進」も図っていく旨追記します。	有
37	協議会	63	何か新しいまちができるのではないかと考えてわくわくした。 利用者を増やそうとしたときに、活発に利用してくれる必要があると思う。ふらりと立ち寄って米沢駅で降りた際にも安心しておでかけできるようになればよい。	新しい利用者を増やすための取組について、観光との連携も重要だと考えているので、庁内で対応していきます。	無

【凡例】協議会：第3回地域公共交通活性化協議会(11/12)での委員からの御意見、市民説明会：市内7か所で開催(12/8～17)した説明会での御意見
議会：総務文教常任委員会協議会(11/17)および市政協議会(11/24)での御意見、庁内：庁内の確認で得られた意見
※「頁」の()書きは、修正前の計画案の該当箇所を示す。

米沢市地域公共交通計画(案)に関する主な御意見(パブリック・コメント前)に対する対応

No.	区分	頁	意見概要	回答・考え方	修正の有無
38	協議会	63 66	米沢は車がなければ通勤も何もできない環境であるが、車に乗れなくなった頃にはバスにも乗れなくなるのではないか。 そういった弱者の立場に立って、より広く、隅々まで広げていければ大変いいのではないかと思う。	身体機能が低下し、車の運転が難しくなった方は、公共交通の利用が難しい場合もあるかと思えます。 重点事業5-1-③の中で、早いうちから公共交通に関する意識を地域全体で高めていただけるような取組を促進していきたいと思えます。 なお、重点事業4-1-④に、「福祉輸送サービスなど、市内を運行する様々な交通モード総合的に記載された公共交通マップ及び時刻表を作成する」旨を追記して、新たな公共交通マップ及び時刻表を作成する場合には、福祉輸送サービスなどの情報掲載についても検討します。	有
39	協議会	63	観光と連携したバス情報ツールを展開について、紙ではなくウェブで、観光と連携して、バスとかレンタサイクルで米沢をまわれるルートを提案するページを作り、観光客がすぐアクセスできるようにしたら、このルートで回ってみようかと思うのではないか。	今後、関係機関と協力・御意見をいただきながら進めていきたいと考えています。重点事業4-1-④の取組内容に「パンフレットやウェブ上での効果的な情報発信を推進」する旨追記します。	有
40	市民説明会	64	特に冬期は高校生の親の送迎は大変なので、バスダイヤを学校の始業時間に配慮したり、利用料金(値下げ・無料化など)も含めて検討してほしい。	利用料金については、重点事業4-1-①の「運賃制度の見直し」で取組を進めるとともに、戦略的に進める事業4-2-(1)に「冬期間の高校生の移動手段の確保」を加えて検討していきます。	有
41	協議会	64	車の自家用車の保有台数自体を減らす取組として、カーシェアリングの取組が始まっている。自家用車の保有自体が減れば渋滞も減るし、環境負荷軽減につながる。自家用車の利用が高い地方こそ、カーシェアリングの普及効果が高いと思う。	戦略的に進める事業4-2-(3)に「カーシェアリング等が行われる場合の連携の検討」を追加して、今後実施する事業者があった場合にその連携について検討します。	有
42	協議会	64	案内サイン関係だが、米沢市と連携してJR東日本としても、お客様目線に立ってしっかり見直しをしていきたい。また「どこトレ」はJRがしっかりPRしなければならない。バス等交通機関と連携したPRが必要だと思っている。	戦略的に進める事業4-2-(4)に「鉄道等の位置情報についても関係事業者と連携しながら発信していく」旨を追記します。	有

【凡例】協議会:第3回地域公共交通活性化協議会(11/12)での委員からの御意見、市民説明会:市内7か所で開催(12/8~17)した説明会での御意見
議会:総務文教常任委員会協議会(11/17)および市政協議会(11/24)での御意見、庁内:庁内の確認で得られた意見
※「頁」の()書きは、修正前の計画書の該当箇所を示す。

米沢市地域公共交通計画(案)に関する主な御意見(パブリック・コメント前)に対する対応

No.	区分	頁	意見概要	回答・考え方	修正の有無
43	協議会	65	県を中心にオープンデータ化を進めており、オープン化されたデータはGoogleや駅すばあと等の事業者が活用することで、手軽に経路や時間の検索ができる。県内でも米沢市がまもなくGoogleマップで表示される予定。さらにICカードも来春から導入していく予定。	県とはオープンデータやICカード等も含め今後も連携させていただきたいと思います。	無
44	協議会 市民説明会	65	大学生の委員から、ICカードがすごくいいという話があったが、若い人たちはICカードもデジタル化もわかるが、我々高齢者にはなかなか理解できておらず、利用する機会もないので、そういった点も考えていただきたい。	重点事業5-1-①ICカードの活用の取組内容として、「ICカードの普及促進に向けた事業を展開」を追記して取組を行っていきます。	有
45	協議会	65	バスに乗り慣れていない子どもが多い中、バスの乗り方教室を設けていただくと、バスに乗ってみようかなと思うかもしれないので、こういう取組を継続しながらやっていければと感じた。	重点事業5-1-②のとおり、来年度から小学校を中心にやっていきたいと考えております。その際には交通事業者の協力もお願いしたいと思っています。	無
46	庁内	66 (55)	乗用タクシーの活用は市が事業主体になるように読めるが、町内会など地域が主体的に行う場合もあるのではないかと。	乗用タクシーの活用は、地域ごとの実情に応じて、市が運行するケースや、地域が主体的に運行するケースも想定されますので、市街地の魅力向上プロジェクトで掲げていた重点事業1-1-⑤「乗用タクシーの活用」を、重点事業5-1-③「地域主体の交通サービス等の導入等の支援」に統合します。	有
47	協議会	66 (55)	乗用タクシーの活用という新たな取組が提案されており、乗合とは違った利便性があるので、私たちの事業継続の点からも、とてもありがたい事業だと思った。ぜひご協力させていただきたい。	のりあいタクシー事業が拡大していく場合、タクシー業界の皆様ぜひ御協力いただきたいと思います。	無

【凡例】協議会：第3回地域公共交通活性化協議会(11/12)での委員からの御意見、市民説明会：市内7か所で開催(12/8～17)した説明会での御意見
議会：総務文教常任委員会協議会(11/17)および市政協議会(11/24)での御意見、庁内：庁内の確認で得られた意見
※「頁」の()書きは、修正前の計画案の該当箇所を示す。

米沢市地域公共交通計画(案)に関する主な御意見(パブリック・コメント前)に対する対応

No.	区分	頁	意見概要	回答・考え方	修正の有無
48	市民説明会	66	通町は一方通行があり、バス停まで遠い。地域主体の交通サービスに具体的なイメージはあるか。	吾妻町町内会では、地域内の商店や病院にタクシーを使って移動した場合に、500円を超えた分の運賃を町内会が補助し、その財源は町内会費から調達する仕組みをとっています。 このような、地域が主体となって地域の需要や仕組みを考える取組に対し、市でも支援したいと考えており、重点事業5-1-③の中で地域とともに検討していきます。	無
49	庁内	66	重点事業2-1-②「運行方法・交通モードの見直し」と重点事業5-1-③「地域主体の交通サービス導入等の支援」との違いがよくわかりません。	重点事業2-1-②では、郊外部から市街地へのアクセス軸を見直すにあたっての手順など基本的な考え方をお示ししています。 これとは別に、重点事業5-1-③は、プロジェクト1や2ではカバーできない交通不便地域内でのきめ細かな移動手段を確保するための取組に対する支援の考え方についてお示ししています。 重点事業5-1-③に、事業対象として「プロジェクト1や2ではカバーできない交通不便地域でのきめ細かな移動手段等」について検討する旨を追記します。	有
50	協議会	67	高齢運転者が関わる重傷事故や死亡事故は決して少なくない。高齢運転者の方々が免許証の自主返納をして、公共交通機関を利用できるように推進していただきたい。	重点事業5-1-④のとおり、免許証を返納した方でも公共交通を利用しやすい環境づくりについて検討していきます。	無
51	協議会	67	高齢者ドライバーへの対策として、他の地区へののりあいタクシーの導入を検討していただきたい。	地域の中に市がしっかり入り、こういった形が望ましいのかということ地域と一緒に検討していきたいと思えます。	無
52	庁内	67	公共交通のメリットを周知していく様な取組みが必要ではないか。	重点事業5-1-④「企業や免許返納者に対する利用促進策の展開」に「公共交通のメリットを活かした利用促進策を実施」する旨を追記します。	有
53	協議会	-	車内のWi-Fiの充実の話もあったが、バス車内での充電サービスもいいかもしれない。	可能かどうか検討していきます。	無

【凡例】協議会:第3回地域公共交通活性化協議会(11/12)での委員からの御意見、市民説明会:市内7か所で開催(12/8~17)した説明会での御意見
議会:総務文教常任委員会協議会(11/17)および市政協議会(11/24)での御意見、庁内:庁内の確認で得られた意見
※「頁」の()書きは、修正前の計画案の該当箇所を示す。

米沢市地域公共交通計画(案)に関する主な御意見(パブリック・コメント前)に対する対応

No.	区分	頁	意見概要	回答・考え方	修正の有無
54	協議会	69	公共交通の取組を進めていくに当たっては、道路交通の安全と円滑な交通環境にも配慮していただきたい。利便性を追求するあまり、交通事故が起きてしまったということがないように留意していただきたい。	第6章計画の推進方針のとおり、庁内はもちろん関係者とも連携して進めていきます。	無
55	市民説明会	69	学校の統廃合では通学手段が問題となる。市としていろんな部署と話し合ってほしい。	第6章計画の推進方針のとおり、他部署と連携しながら検討していきます。	無
56	市民説明会	70	計画の推進に当たり、市民参画が不可欠とのことだが、具体的にどうやっていくのか。 特に若者の意見はどの様に反映させていくのか。	若者のニーズに関しては、高校生や大学生向けアンケート、駅構内でのヒアリング調査結果などを行っていますので、これらを施策に反映していきます。 また、行政・交通事業者・関係団体・市民で構成する米沢市地域公共交通活性化協議会において計画の内容について多様な意見をいただきながら継続して協議していく予定であり、その協議会には大学生にも入っていただいています。	無

【凡例】協議会:第3回地域公共交通活性化協議会(11/12)での委員からの御意見、市民説明会:市内7か所で開催(12/8~17)した説明会での御意見
議会:総務文教常任委員会協議会(11/17)および市政協議会(11/24)での御意見、庁内:庁内の確認で得られた意見
※「頁」の()書きは、修正前の計画案の該当箇所を示す。